

# 片野坂 社 長 帰 国

中国の深圳市に視察に行つてきました！



## 社長の現地でのスケジュール

- 1日目  
香港→深圳まで移動。  
深圳に到着後、入国審査。  
自分のスマホのネットワーク制限がかかる。  
(facebookなどの利用ができなくなる)  
その後、ホテルに到着、食事〜軽く観光。  
移動は無人タクシーを利用。
- 2日目  
7時ごろ起床。現地の経営者マイケル氏と合流。  
その後、B-Duckを生み出した本社に訪問。  
社長自ら中国式のお茶でおもてなしを受ける。  
その後昼食。夕方5時からは100人規模の経営者  
パーティへ。飲み対決で勝利をおさめる。
- 3日目  
現地の通訳と合流し、スターバックスの  
「ドローンを用いたデリバリー」の実証実験に参加。  
その後、深圳で一番高いビルへ訪れたあとに、  
中国茶の聖地へ赴き、現地のおもてなしを受ける。  
夜は現地の方との交流。
- 4日目(最終日)  
深圳から香港へ移動し、北京ダックのお店へ。  
経営者たちと話をしながら食事。  
その後は日本へ帰る飛行機に乗り、無事に日本に到着！



株式会社エルズパートナー  
かたのさか たくや  
代表取締役社長 片野坂 拓也



▲二日目の昼食で  
鳩を食べました。



お茶のおもてなしを受けました  
(撮影・片野坂社長)



空飛ぶ車！(撮影・片野坂社長)



中国で知らない人はいないキャラクターの本社にて  
(撮影・片野坂社長)

社長！  
おかしな事ばかり！  
ご無事でなにより！



(今回の出張はどういう目的でしたか?) みなさんご存じでないかも知れませんが、進行中のインバウンド向けのホテル事業のための視察出張でした。世界的経済都市といわれる深圳(しんせん)市へ、最新技術の視察と、現地の知り合いの経営者に会いに行ってきました。

(現地では印象に残ったこと、教えてください！)  
まずは、初日に無人タクシーに乗ったことです。(※緊急時の対応のための係員は運転席にいました) 走行中、危険な場面があってもAIが感知し、自動で安全運転を完璧に行っていました。次に、3日目に実際に体験した、スターバックスのドローンデリバリーです。これは現地でもまだ馴染みがないようで、デリバリーしてくれず、配達場所が限定されている)では現地人も集まり、デリバリー完了の瞬間、歓声が沸き起りました(笑) それと、現地で僕が交流した方はみんな、「日本が大好き」、「日本の文化を理解している」方ばかりで、本当に最高でした！

(出張中、トラブルや困ったことはありませんか?) とにかく現金が使えなかった。本当に、一切使える場面がなかった。あとは、ウォッシュレットがなかった。ご飯は何を食べても辛かった。そして、中国語(または英語)でも英語が通じない人もたくさんいた)を話せない、通じない人がいた)と成り立たなかった。あとは、(気づかなかったけど)熱が出るなどの、多少の体調不良がありました。

(今回の出張の収穫を教えてください。ひとつは、中国人のイメージが変わったことです。僕が現地で関わった人はみんな、ホスピタリティがあって、日本入時も、いわゆる「ぼったくり」などをされることなく、茶器の特徴や機能面の紹介、説明を親切にしてくださりました。) もうひとつは、とにかく技術が進んでいること、安定した労働力の確保を国家として仕組み化していることに感じられたことです。例えば、国策の1つとして、キャッシュレス化をすすめる、現金が使えない環境にしています。これは、国内の消費・決済には、中国製電子アプリの使用を必須とし、(あのどこでも使えるVISAのクレジットカードも使えなかった) 経済の効率化や治安対策を図っています。また、高層ビルをどんどん建設し、労働者をそこに送り込む仕組みや教育体制があります。これも国策として、国力を高めるための持続的な企業強化を図っています。このようなことを実際に現地へ赴き、自身で感じ、知ることができたのはいい収穫でした。

(その他、全体を通しての所感を教えてください！) とにかくお金持ちがレベチ！グローバルな感覚を肌で感じ、ホテル事業での価格設定の参考になりました。また、AIなどを駆使した商品企画の時間も、結局選ばれるものは「みんなが心地よいと感じるもの」こと、ということだと考えています。(せつぷく) 今回の出張の件とは別に...アポイントさんへメッセージをお願いします！)